

# 2023 年度事業報告書

2024 年 3 月

助成プログラム名	日本財団「子ども第三の居場所」事業
事業 ID	2023007516
事業名	千葉県における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営支援（3 年目）
団体名	公益財団法人 ちばのWA地域づくり基金

## 1. 事業の目標

- 1) 千葉県に2カ所（木更津市、東金市）のコミュニティモデルの拠点を運営する団体が、助成期間中に組織基盤強化や事業改善、地域連携促進など伴走支援を行い、助成期間終了後（4年目）の事業継続と更なる発展ができるようにする。
- 2) 自律的な運営を目指す経営能力づくりをサポートしていく
- 3) 関係者の満足度 80%以上（拠点スタッフ・利用者・家族にヒアリング）

## 2. 事業実施体制の構築

本事業は、子ども第三の居場所の拠点である、つながるかんでんち（木更津市）およびおひさまの家（東金市）がそれぞれ「子ども第三の居場所」の運営およびイベント開催などを通じて、地域住民はじめ行政、自治会、企業や関係団体との交流促進を図る。ちばのWA地域づくり基金は、運営支援および持続的に事業を営むための種々の支援業務を行って、コミュニティ型拠点の定着を図るものである。

本事業の作業分担表および事業の概念図を表 1 および

図 1 に示す。

表 1 作業分担

拠点・組織の名称	担当者の役職・氏名	主な業務
つながるかんでんち・一般社団法人かんでんち	代表理事 矢部牧子	木更津市の拠点運営
おひさまの家・NPO 法人 3.11 子ども文庫	理事 鈴木孝雄	東金市の拠点運営
ちばのWA地域づくり基金	専務理事・事務局長 志村はるみ	運営のための伴走支援

# 「子ども第三の居場所」コミュニティモデル全体イメージ

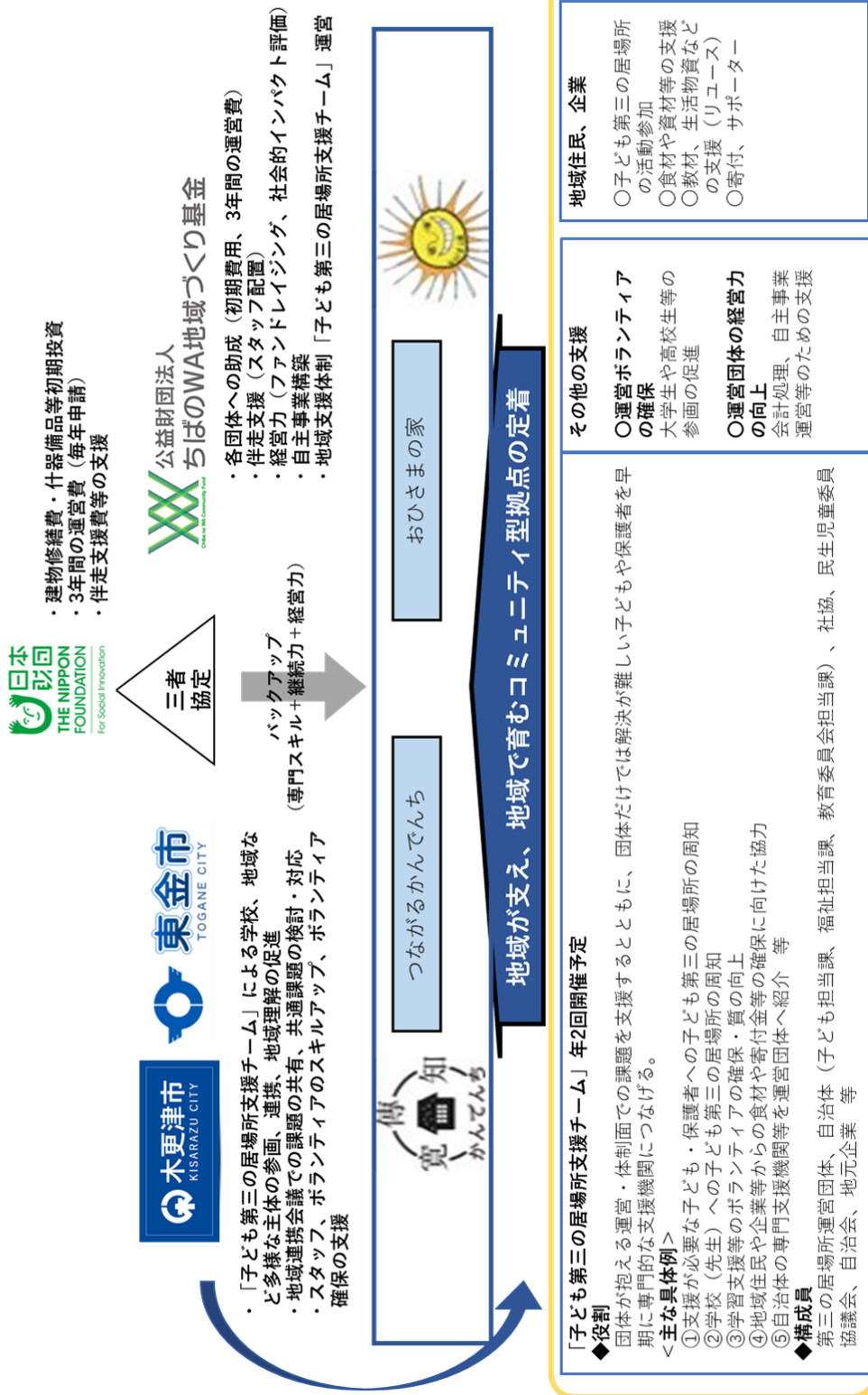


図 1 事業の概略図

### 3. 業務工程

今年度の業務工程を表 2 に示す。

表 2 業務工程

会議等 ( ) 内計画回数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3月	計(実績)
定期面談(月次面談1回/月)													24
木更津市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
東金市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
地域研修会(各1回)								○					1
地域連携会議(各2回程度)													4
木更津市						○						○	2
東金市							○				○		2

### 4. 事業内容

木更津市および東金市の各拠点における児童の生活支援や学習支援等の居場所「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営支援を実施した。

コミュニティモデルの運営については、木更津市、東金市ともに2年目となる。

各拠点における市町村と各施設運営団体との連携体制の構築、施設運営の向上および組織改善を図るための支援を行った。これまでの主な会議等の経過は表 2 に、計画と実績との対比は表 3 に示すように事業の実施は当初の計画とおりに行うことができた。

#### 1) 各拠点の居場所運営支援

定期面談の実施

各団体と毎月定期面談および打合せを行い、進捗状況の確認、業務支援に係る指導・助言を実施した。特に利用者増加に向けた広報、会計実務について木更津拠点、東金拠点ともに毎月、担当者への相談対応を実施した。

#### 2) 研修会の開催

地域研修会を以下のとおり開催した。

日時：2023年11月23日(木)9:30~12:00

場所：つながるかんでんち

参加者：一般社団法人かんでんち役員3名、ちばのWA地域づくり基金職員2名

内容：決算書作成について、仕訳について

#### 3) 自治体と各拠点運営団体との連携体制の構築

地域連携会議

「子ども第三の居場所」支援チームを構築し、自治体、学校、保育園、地域住民(区長、民生児童委員)、社協、企業等を交えた地域連携会議を通じて、事業の周知を図り、活動報告・課題共有・解決策の検討、連携・協力体制構築に係る支援を行った。

併せて、自治体との連携強化として、子どもの支援に関する情報提供、自治体や学校と居場所運営団体の気づきを共有、地域住民への居場所の認知促進、専門的知識、専門家領域のノウハウ提供協力を行うため市役所等の訪問を行った。

### ○木更津拠点

地域連携会議として、木更津市の「つながるかんでんち」報告会を以下の通り2回開催した。

第1回つながるかんでんち 報告会	
開催日時	2023年9月10日(日) 13:30~15:30(受付13:15~)
開催場所	寛傳知 2階 大広間(木更津市中央2-8-18)
参加者	28名(定員30名)、運営スタッフ5名
参加費	無料
主催	公益財団法人ちばのWA地域づくり基金
後援	木更津市、木更津市教育委員会
共催	一般社団法人かんでんち
助成	公益財団法人日本財団
開催目的	2022年3月のオープンから1年半が経過した「つながるかんでんち」について、運営団体である一般社団法人かんでんちが地域住民や関係機関に向けた報告を行うことで、地域が支え地域で育むコミュニティモデルの定着と、地域支援体制のさらなる強化を目指す。 ・居場所(つながるかんでんち)が周知され、利用する子どもたちが増える。 ・運営団体がこの報告会を通じて本事業の価値や意義を再確認し、子ども第三の居場所としての成果を意識した運営ができるようになる。
内容	・開会挨拶(公財)ちばのWA地域づくり基金、(一社)かんでんち ・趣旨説明((公財)ちばのWA地域づくり基金) ・報告「つながるかんでんちについて」((一社)かんでんち) ・意見交換会 テーマ①「つながるかんでんちで私ができること・やりたいこと」 テーマ②「子どもたちの生き抜く力を育むために、地域の住民や機関・施設がともにできることを考える」 グループごとに話し合った内容を共有 ・閉会挨拶(一社)かんでんち
広報	チラシ配布(市内近隣小学校、近隣の民生委員・主任児童委員、木更津市内の公共施設、NPO等)、当財団HP、メールマガジン
参加者の概要	学校関係2名、公務員2名、団体職員4名、NPO/ボランティア/利用者保護者15名、民生委員1名、主任児童委員2名、大学教員1名、自治会1名、スタッフ5名
アンケート結果	満足度：大変満足 55.6% まあまあ満足 33.3% 普通 11.1%

まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者は昨年度よりも少なくなるのではないかと危惧していたが定員近くの28名の方にご参加いただくことができた。</li> <li>・報告会前半では、当財団による子ども第三の居場所コミュニティモデルの説明とかんでんちによる活動報告を行った。新しい取り組み(ものづくりイベント)を通じて徐々に利用児童数を伸ばしていることや、地域との交流の活発化、ボランティアの関りの深化など、ここまでの成果を参加者に説明した。また、現在かんでんちが抱えている課題として「助成金に頼った運営」「人材の不足」「認知度の低さ」を挙げ、参加者への協力を仰いだ。</li> <li>・後半の意見交換会では、4つのグループに分かれてディスカッションを行った。前半の活動報告で挙げた課題に対して具体的な案や協力を申し出ての方など、かんでんちの課題を自分ごととして考えてくださる方が多かったことが印象に残った。</li> <li>・ここ数ヶ月、人材不足が大きな悩みであったかんでんちだが、今回の参加者の中から事務を担うパートスタッフが見つかった。また、今回の参加者を中心とした情報共有会を継続的に行うことが決まるなど、報告会の実施後に良い変化がいくつか現れている。</li> </ul>
-----	--



第2回つながるかんでんち 報告会	
開催日時	2024年3月25日(月) 9:30~11:30 (受付9:15~)
開催場所	寛傳知 2階 大広間 (木更津市中央2-8-18)
参加者	11名(定員30名)、運営スタッフ2名
参加費	無料
主催	一般社団法人かんでんち
共催	公益財団法人ちばのWA地域づくり基金
後援	木更津市、木更津市教育委員会
助成	公益財団法人日本財団

開催目的	<p>前回の報告会では、つながるかんでんちの活動に興味をもち、期待を寄せる方が多くいることがわかったが、同時に私たちだけでは解決できない課題があることを認識できた。また参加された方や団体・機関では既存の取り組みやキャパシティでは、困難な状況に置かれている子どもたちに対して、対応しきれない状況にあることが分かった。</p> <p>これらの課題に対して、単独の団体や取り組みだけでは対応することが難しいことが考えられるため、対象の子どもに合った地域での支援体制を構築するため、地域でゆるやかなネットワークの形成が必要だと考えられる。</p> <p>前回の報告会に参加いただいた方を中心に取り組み状況や課題を報告してもらい、参加者ともに地域の子供たちの現状を共有し関係強化を図るとともに、具体的な取り組みに考える機会とする。</p>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会挨拶 一般社団法人かんでんち</li> <li>・趣旨説明 一般社団法人かんでんち</li> <li>・報告①「つながるかんでんち」活動報告（般社団法人かんでんち）</li> <li>報告②「木更津市の取り組みについて」報告（木更津市福祉部福祉相談課）</li> <li>・意見交換会 グループディスカッション テーマ「私たちの重なり合い方と、私たちができる子どもたちとの関わり合い」</li> <li>・閉会挨拶 一般社団法人かんでんち</li> </ul>
広報	チラシ配布（市内近隣小学校、近隣の民生委員・主任児童委員、木更津市内の公共施設、NPO等）、SNS
参加者の概要	学校関係1名、公務員1名、主任児童委員2、団体職員4名、ボランティア3名、スタッフ2名
アンケート結果	満足度：大変満足 80% まあまあ満足 20%
まとめ	<p>前回の報告会で意見のあった地域で困難な状況に置かれている子どもたちに対して、団体や大人がどのようにつながり、関係を持ち関わっていかれるかを考えるテーマ設定とした。</p> <p>平日の開催だったため、近隣の自治会の方の参加が難しかったことや仕事の関係で来られない方がいたため、前回の報告会よりの参加者が少なかった。</p> <p>報告会前半では、当法人よりつながるかんでんちの活動報告及び、課題を抱えている子の受け入れ状況や関わり方の説明を行なった。また、木更津市福祉部福祉相談課の方からは、課題を抱えている家庭の子どもたち事例や市の重層的支援事業の説明をいただいた。</p> <p>後半の意見交換では、ディスカッションを行なった。前半の報告で行なったかんでんちの取り組みへのご意見や、参加者自身の活動と連携できること、事例をもとにした提案など、積極的なご意見をいただくことができた。</p>

参加者と課題を共有することができ、地域の中でネットワークを形成するために、定期的な意見交換の場を作っていくことが決まり、今後の連携強化に繋がる報告会となった。



### ○東金拠点

地域連携会議として、東金市の「おひさまの家」報告会を以下の通り2回開催した。

東金子ども・子育て支援第1回地域懇談会	
開催日時	2023年10月19日(木) 9:30~12:00 (受付9:00~)
開催場所	おひさまの家(東金市東中島297)
参加者	14名 運営スタッフ3名
参加費	無料
主催	公益財団法人ちばのWA地域づくり基金
共催	NPO法人3.11こども文庫
助成	公益財団法人日本財団
開催目的	行政はじめ民間ベースでも子ども・子育て支援活動が活発に行われている一方で、家族機能の変化、地域コミュニティの希薄化、多様性への対応など、子ども・子育てを取り巻く事実を確認しながら、課題についての情報共有を行うことにより、地域支援体制の強化と誰一人取り残さない地域子育てコミュニティ構築への足掛かりとすることを目的とする。



内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会・趣旨説明 (公財) ちばのWA地域づくり基金(15分)</li> <li>・懇談会 (120分)「子育てしやすい環境とは何か?を考える」</li> <li>&lt;セッション1:事実の共有&gt; (バッファ込み 80分)</li> <li>①行政から:子ども・子育て支援に関する施策紹介 (10分×3人)</li> <li>民間団体から:子ども・子育て支援に関する活動紹介 (5分×4団体)</li> <li>②民間団体から:活動を通じての子ども・子育てに関する課題共有 (5分×4団体)</li> <li>&lt;セッション2:意見交換&gt; (40分)</li> <li>「子育てしやすい環境とは、具体的にどのような状態なのか?」</li> <li>・ふりかえり・まとめ(15分)</li> <li>・閉会</li> </ul>
発表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>①東金市子育て支援課児童家庭係係長 丸山達巳さん</li> <li>②東金市健康増進課母子保健係係長 内山明美さん</li> <li>③東金市教育部学校教育課指導係主幹 古川寛之さん</li> <li>④株式会社コイノニア 今西航地さん</li> <li>⑤認可外保育園まいまいほ一む 福田ゆず子さん</li> <li>⑥NPO 法人ちば地域生活支援舎 (学び舎ゆーすぽーと) 藤田実さん</li> <li>⑦NPO 法人 3.11 こども文庫 鈴木孝雄さん</li> </ul> <p>【司会進行・記録】ちばのWA地域づくり基金</p>
参加呼びかけ	主任児童委員部会長、元東金市教育委員、千葉県SSW、東金市社会福祉課
参加者の概要	市役所3名、民間団体3名、SSW1名、こども文庫7名
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東金市及び近隣市で子ども・子育て支援をしている団体並びに東金市担当課が参加し、それぞれの取り組みを紹介し、課題について話し合った。</li> <li>・今回は子ども支援、子育て支援に関わる関係者のみの参加とし、連携を促進していくための情報交換を主とした。</li> <li>・参加者からはこのような機会が得られたと好評だった。</li> <li>・意見交換では子育てしやすい環境をつくるために具体的にどのような連携ができるかなど、活発な意見交換が行われた。</li> </ul>



東金子ども・子育て支援第1回地域懇談会  
「子育てしやすい環境とは何か？」を考える  
2023年10月19日(木)9:30~12:00 @おひさまの家



出席費：14名  
進行・まとめ：志村（ちばのWA地域づくり基金）  
記録・ふり返り：大村（ちばのWA地域づくり基金）

セッション1 [事業の共有]

行 数 10分×3組

自己紹介	山田美穂さん 東金市子育て支援センター 地域活動推進員	山田美穂さん 東金市子育て支援センター 地域活動推進員	山田美穂さん 東金市子育て支援センター 地域活動推進員
子ども・子育てに関する活動の紹介	東金市子育て支援センター 地域活動推進員としての活動内容について紹介し、子育て支援センターの役割や活動の現状について説明した。	東金市子育て支援センター 地域活動推進員としての活動内容について紹介し、子育て支援センターの役割や活動の現状について説明した。	東金市子育て支援センター 地域活動推進員としての活動内容について紹介し、子育て支援センターの役割や活動の現状について説明した。

自己紹介	山田美穂さん 東金市子育て支援センター 地域活動推進員	山田美穂さん 東金市子育て支援センター 地域活動推進員	山田美穂さん 東金市子育て支援センター 地域活動推進員
子ども・子育てに関する活動の紹介	東金市子育て支援センター 地域活動推進員としての活動内容について紹介し、子育て支援センターの役割や活動の現状について説明した。	東金市子育て支援センター 地域活動推進員としての活動内容について紹介し、子育て支援センターの役割や活動の現状について説明した。	東金市子育て支援センター 地域活動推進員としての活動内容について紹介し、子育て支援センターの役割や活動の現状について説明した。

活動を通しての子ども・子育てに関する課題共有	山田美穂さん 東金市子育て支援センター 地域活動推進員	山田美穂さん 東金市子育て支援センター 地域活動推進員	山田美穂さん 東金市子育て支援センター 地域活動推進員
活動を通しての子ども・子育てに関する課題共有	東金市子育て支援センター 地域活動推進員としての活動内容について紹介し、子育て支援センターの役割や活動の現状について説明した。	東金市子育て支援センター 地域活動推進員としての活動内容について紹介し、子育て支援センターの役割や活動の現状について説明した。	東金市子育て支援センター 地域活動推進員としての活動内容について紹介し、子育て支援センターの役割や活動の現状について説明した。

セッション2 [意見交換]

「子育てしやすい環境とは、具体的にどのような状態なのか」を考える

話し合い人 山田、大村、志村

議題 子育てしやすい環境とは、具体的にどのような状態なのか

① 理想の子育て環境とは何か？

- ・安全・安心な環境
- ・自然豊かな環境
- ・子育てしやすい施設がある
- ・子育てしやすい情報が得られる
- ・子育てしやすい人が集まる

② 理想の子育て環境を実現するために必要なことは何か？

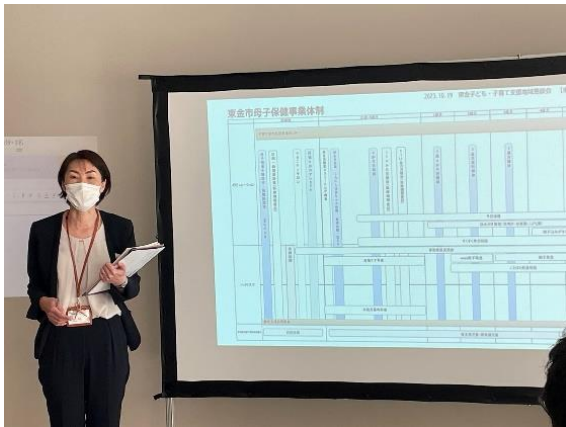
- ・子育てしやすい施設を整える
- ・子育てしやすい情報を提供する
- ・子育てしやすい人を集める
- ・子育てしやすい環境を整える

③ 理想の子育て環境を実現するために必要なことは何か？

- ・子育てしやすい施設を整える
- ・子育てしやすい情報を提供する
- ・子育てしやすい人を集める
- ・子育てしやすい環境を整える

④ 理想の子育て環境を実現するために必要なことは何か？

- ・子育てしやすい施設を整える
- ・子育てしやすい情報を提供する
- ・子育てしやすい人を集める
- ・子育てしやすい環境を整える



子ども第三の居場所「おひさまの家」活動報告会	
開催日時	2024年2月28日(水) 13:00~15:00 (受付12:30~)
開催場所	おひさまの家(東金市東中島297)
参加者	30名(定員30名)、運営スタッフ2名
参加費	無料
主催	公益財団法人ちばのWA地域づくり基金
共催	NPO法人3.11こども文庫
助成	公益財団法人日本財団

開催目的	2022年9月に開所した子ども第三の居場所「おひさまの家」について、運営団体であるNPO法人3.11こども文庫（おひさま文庫）が地域住民や関係機関に向けた報告を行うことで、地域が支え地域で育むコミュニティモデルの定着と、地域支援体制のさらなる強化を目指す。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会</li> <li>・子ども第三の居場所コミュニティモデルについて説明（（公財）ちばのWA地域づくり基金）（10分）</li> <li>・「おひさまの家」活動報告（NPO法人3.11こども文庫おひさま文庫）（15分）</li> <li>・意見交換会（80分）※テーマ設定 「子どもに関する地域の現状と課題」と「子どもたちの生き抜く力を育むために、地域の住民や機関・施設がともにできることを考える」</li> <li>・閉会 アンケート収集</li> </ul>
広報	チラシ、WEB、上記機関・施設への直接のご案内
参加者の概要	行政、教育関係者、千葉県SSW、社協、民間団体、民生委員、東金市食生活改善会、保護者、スタッフ
アンケート結果	満足度：大変満足 36% まあまあ満足 60% 普通 4%
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の様々な属性の方が参加し、事業開始から1年半の活動を報告した。</li> <li>・報告では学校や家庭ではなかなか体験ができないワークショップやイベントなど参加者は関心をもって聞いていた。</li> <li>・後半の意見交換会では6グループに分かれ2つのテーマで行い、地域の子どもたちが置かれている状況や課題、おひさまの家が地域の資源として活用するために何ができるかを話し合った。</li> <li>・子どもの居場所だということは知っていたが、具体的にどのようなことが行われているか知らなかったという方も多く、情報発信の重要性を学んでいた。</li> </ul>



表 3 計画と実績との対比

会議等の名称	計画	実績	備考
定期面談（木更津市、東金市 での月次面談各1回/月）	各拠点12回 （計24回）	計24回	計画とおり実施 各拠点の定期面談を毎月実施した
木更津市	12	12	
東金市	12	12	
各拠点2回ほど、	各拠点2回程度 （計4回程度）	各拠点2回 計4回	計画とおり実施 木更津市：9/10、3/25 東金市：10/19、2/28
木更津市	2	2	
東金市	2	2	
地域研修会（各1回）	2	1	会計研修：11/23

## 5. 拠点における関係者の満足度について

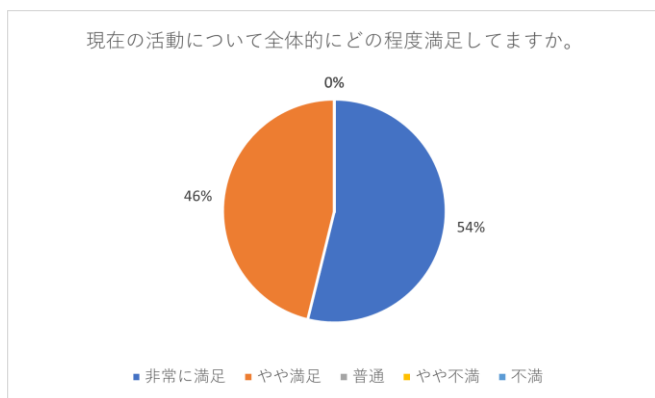
各拠点において、関係者（拠点スタッフ・利用者・保護者）の満足度を把握するためのアンケート調査を実施した。その結果、拠点スタッフおよび利用者・保護者とも図2に示すとおり、全体的な満足度は本事業の目標である80%以上を概ね達成した。アンケート調査ではスタッフ・ボランティア20人、利用者・保護者21人から回答を得た。

図2 関係者の満足度を把握するためのヒアリング調査結果

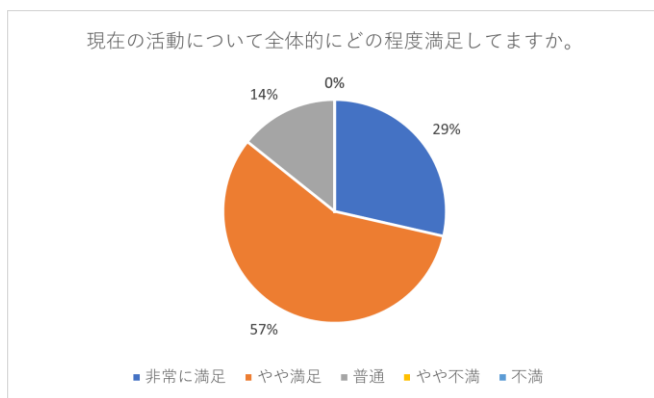
※満足度：非常に満足、やや満足と回答した割合

### 【拠点スタッフ】

つながるかんでんち 満足度：100%

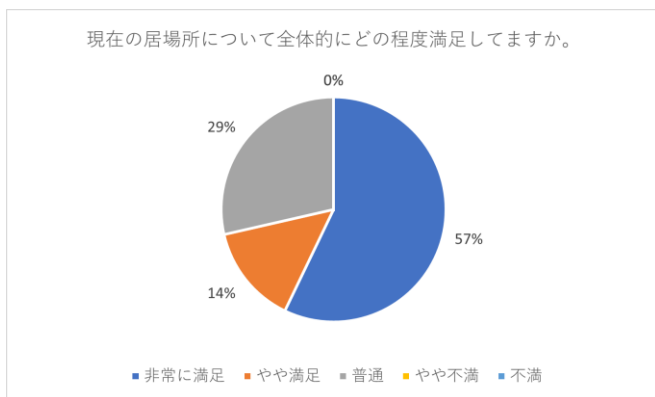


おひさまの家 満足度：86%

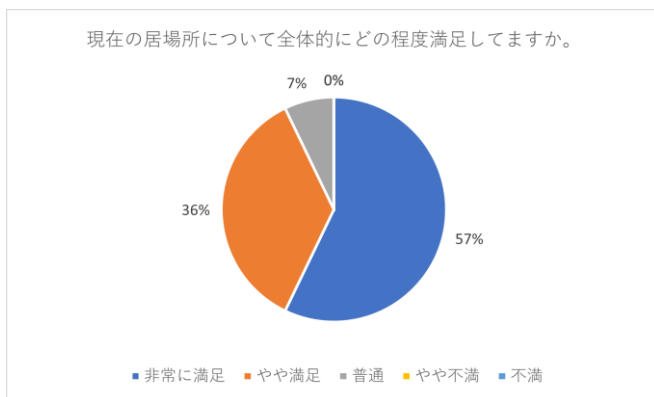


### 【利用者・保護者】

つながるかんでんち 満足度：71%



おひさまの家 満足度：93%



<参考>子ども第三の居場所の満足度に関する調査（アンケート・聞き取り）

拠点名：つながるかんでんち（木更津市）

【拠点スタッフ向け】

		人数								
Q1	属性	スタッフ	0							
		ボランティア	12							
		その他	1							
	合計		13							
				非常に満足	やや満足	普通	やや不満	不満		
Q2	現在の活動について全体的にどの程度満足していますか。			7	6	0	0	0		
Q3	現在の活動にやりがいを感じますか。			8	5	0	0	0		
Q4	居場所内の作業環境に満足していますか。			7	5	1	0	0		
Q5	イベント企画などへの参加しやすさに満足していますか。			8	4	1	0	0		
Q6	今後も活動したいと思いますか。			10	3	0	0	0		
Q7	その他要望	なし								

【利用者・家族向け】

		人数								
Q1	属性	小学生	5							
		中学生	0							
		その他	0							
		保護者	2							
	合計		7							
				ほぼ毎回	週1回程度	月1回程度	その他			
Q2	どのくらいの頻度で利用しますか。ほぼ毎回、週1回程度、月に1回程度、その他			0	3	3	1			
				非常に満足	やや満足	普通	やや不満	不満		
Q3	現在の居場所について全体的にどの程度満足していますか。			4	1	2	0	0		
Q4	スタッフやボランティアさんの対応はどうですか。			5	0	2	0	0		
Q5	食事やおやつに満足していますか。			6	0	1	0	0		
Q6	イベントの内容や回数（頻度）は満足していますか。			4	1	1	1	0		
Q7	今後も居場所を利用したいと思いますか。			4	1	0	1	1		
Q8	その他要望	なし								

<参考>子ども第三の居場所の満足度に関する調査（アンケート・聞き取り）

拠点名：おひさまの家（東金市）

【拠点スタッフ向け】

人数

Q1	属性	スタッフ	7
		ボランティア	0
		その他	0
	合計		7

		非常に満足	やや満足	普通	やや不満	不満
Q2	現在の活動について全体的にどの程度満足していますか。	2	4	1	0	0
Q3	現在の活動にやりがいを感じますか。	4	3	0	0	0
Q4	居場所内の作業環境に満足していますか。	1	6	0	0	0
Q5	イベント企画などへの参加しやすさに満足していますか。	4	3	0	0	0
Q6	今後も活動したいと思いますか。	3	0	2	2	0
Q7	その他要望	なし				

【利用者・家族向け】

人数

Q1	属性	小学生	9
		中学生	0
		その他	0
		保護者	5
	合計		14

		ほぼ毎回	週1回程度	月1回程度	その他
Q2	どのくらいの頻度で利用しますか。ほぼ毎回、週1回程度、月に1回程度、その他	6	2	1	5

		非常に満足	やや満足	普通	やや不満	不満	その他
Q3	現在の居場所について全体的にどの程度満足していますか。	8	5	1	0	0	
Q4	居場所に気軽に来ることができますか。	13	1	0	0	0	
Q5	スタッフやボランティアさんの対応はどうですか。	11	1	2	0	0	
Q6	食事やおやつに満足していますか。	9	3	0	1	0	1
Q7	イベントの内容や回数（頻度）は満足していますか。	12	0	2	0	0	
Q8	今後も居場所を利用したいと思いますか。	13	0	1	0	0	
Q9	その他要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ランドセルを背負ったまま、家でなく「ただいま」って帰れる場所があったのは親子でとても安心できることでした。外でも思いっきり遊んで、毎日TVやゲームばかりの生活から離れて、自分たちで色々工夫しながら遊べる環境はとても良いところでした。</li> <li>・一日も早い再開を願います。地域の皆様の憩いの場!!</li> <li>・カフェなどの飲食のメニューや営業時間をもっと充実していると良いと思った。子どもがのびのびと遊べる場所だったので、今後もよりアップデートして誰もが気軽に来れる場所になって欲しいです。</li> <li>・スタッフの皆さんとても温かい人ばかりでとても居心地がよかったです。庭も自由に使うことができ、沢山遊ぶことができすごく環境がよく、長期休みだけの利用でしたので、近くに欲しいなあいつも思っていました。</li> </ul>					

## 6. 今後の取り組み

各拠点の子ども第三の居場所の運用の充実を図るための支援および組織基盤強化の取り組みを通じて、木更津市および東金市のコミュニティモデル事業がそれぞれの強みを生かした自主事業づくり等により自立を目指した支援を継続的に実施する。

### ○添付資料

別紙1 つながるかんでんち活動報告

別紙2 おひさまの家活動報告

以上